

グループ・団体名	NPO法人 おきなわCAPセンター	代表者名	長田 清																															
所在地 TEL&FAX	〒 903-8603 那覇市久茂地 3-29-41-402 (すぺーす・結 気付) Tel&Fax: 098-862-1686	担当者 及び連絡先	中村 淑子																															
		Tel & Fax: 098-866-4517																																
グループ・団体の概要	結成(設立): 1996年 11月 会員数: 50名 主な活動内容: CAPとは「Child Assault Prevention」の頭文字をとったもので、「子どもへの暴力防止」という意味です。人権を「安心」「自信」「自由」という分かりやすい言葉でから具体的に学びます。そして、暴力とは人権が奪われる状態であること、大人も子どもも自分や人の人権を尊重し、守ることができることを楽しく実践的に学ぶ教育プログラム(ワークショップ)を提供しています。	2004年度の予算																																
		<table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>ワークショップ実施料金</td> <td>6,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>年会費 寄付など</td> <td>500,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>6,500,000</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>プログラム提供事業</td> <td>3,160,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学習・啓発事業</td> <td>350,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人材育成事業</td> <td>500,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>広報事業</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>給料手当</td> <td>960,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>分担金・家賃</td> <td>300,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通信費・消耗品費・雑費</td> <td>1,130,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>6,500,000</td> </tr> </table>	収入	ワークショップ実施料金	6,000,000		年会費 寄付など	500,000		計	6,500,000	支出	プログラム提供事業	3,160,000		学習・啓発事業	350,000		人材育成事業	500,000		広報事業	100,000		給料手当	960,000		分担金・家賃	300,000		通信費・消耗品費・雑費	1,130,000		計
収入	ワークショップ実施料金	6,000,000																																
	年会費 寄付など	500,000																																
	計	6,500,000																																
支出	プログラム提供事業	3,160,000																																
	学習・啓発事業	350,000																																
	人材育成事業	500,000																																
	広報事業	100,000																																
	給料手当	960,000																																
	分担金・家賃	300,000																																
	通信費・消耗品費・雑費	1,130,000																																
	計	6,500,000																																

プロジェクト名

ボランティアに必要な人権教育プログラム ~小学生プログラム~

プロジェクト概要

ボランティアをするにあたっての基本は人権教育とコミュニケーションの力です。「あなたはこの世にたったひとりしかない大切な存在」という自分を大切にする自尊感情がなければ、いのちの大切さや他人への思いやりを育てることはできません。CAP(子どもへの暴力防止)は自分を大切にすることを育てる人権教育です。

CAPのワークショップは参加型学習の形をとっています。一方的に教えるのではなく、参加者が自ら考え、ロールプレイ 役割劇を見て意見を言い合い、ロールプレイに参加することで一緒に考えるプログラムなのです。誰もが持っている権利を「安心」「自信」「自由」という子ども達に分かりやすい言葉で示し、大切な権利が取られそうになったら何が出来るかを考え、実際に友達同士助け合うことや相談することをやってみます。

人権教育という土台をつくることその後の学級経営にもいかにされたいと思います。

実施により期待できる効果

自分は大切な存在だと認識することができる
 自分と同じように他人もまた大切な存在だと認識することができる
 信頼する大人に相談することの大切さを知ることができる
 自分の行動に自信を持つことが出来る
 友達同士助け合うことができる
 暴力に対する正しい知識を学び、クラスで共有することが出来る

1回あたりの対応可能人数・時間及び必要経費

大人ワークショップ 何人でも	約 12分	20,000円	【必要経費内訳】 人件費(3人×1日400円) = 12,000円 事務費 2,000円 事務所費 2,000円 消耗品費・通信費・印刷費他 4,000円 但し船賃、航空運賃、宿泊が必要な場合別途経費がかかることがあります。
就学前ワーク 15名くらい	20分の3日間	20,000円	
小学生ワーク 1クラス単位	約60分	20,000円	
小学生低学年 1クラス単位	45分の2日間	20,000円	

プロジェクト実施におけるタイムスケジュール(案)

調整(日程及び人数) 応相談

事前学習必要の有無 無(但し、子どもワーク前に大人 教職員へのワークを実施する。打ち合わせが必要)

実施後のフォロー :ワーク直後にトークタイムを実施する。復習タイムを設ける。

プロジェクト名

ボランティアに必要な人権教育プログラム ~中高生プログラム~

プロジェクト概要

ボランティアをするにあたっての基本は人権意識とコミュニケーションの力です。

あなたはこの世にたったひとりしかない大切な存在」とい自分を大切に自尊感情がなければいのちの大切さや他人への思いやりを育てることはできません。CAP(子どもへの暴力防止)は自分を大切に育てる人権教育です。

CAPのワークショップは参加型学習の形をとっています。一方的に教えるのではなく、参加者が自ら考え、ロールプレイ 役割劇を見て意見を言い合い、ロールプレイに参加することで一緒に考えていきます。

中高生が出会うかもしれない暴力について学び、どうしたら被害者にも加害者にもならないでいられるかを具体的に話合います。子どもワークショップの前に、保護者や教職員向けの大人ワークショップを実施することで、信頼できる大人を増やすことが大切だと思います。

1回あたりの対応可能人数・時間及び必要経費

大人ワークショップ 何人でも	約 120分	20,000円
教職員ワークショップ 何人でも	約 120分	20,000円
中高生ワークショップ ークラス単位	90分の 2日間	20,000円

実施により期待できる効果

自分は大切な存在だと認識し、自尊感情を高めることができる
自分と同じように他人もまた大切な存在だと認識することができる
信頼する大人に相談することを勧める
自分の行動に自信を持つことができる
自分の意見をきちんと伝える(アサーティブネス)のスキルを伝える
友達同士助け合うことができる(ピアサポート)
デートレイブという性暴力について学ぶ
暴力に対する正しい知識を学び、クラスで共有することができる

プロジェクト実施におけるタイムスケジュール(案)

調整(日程及び人数) 応相談
事前学習必要の有無 無(但し、子どもワーク前に大人・教職員へのワークを実施する。打ち合わせが必要)
実施後のフォロー :ワーク直後にトークタイムを実施する。復習タイムを設ける。

【必要経費内訳】

人件費(3人×1日4000円)	12,000円
事務費	2,000円
事務所費	2,000円
消耗品費・通信費・印刷費他	4,000円

但し船賃、航空運賃、宿泊が必要な場合別途経費がかかることがあります。

プロジェクト名

地域の安全を考えるプログラム ~地域の子ども達を暴力から守るために~

プロジェクト概要

対人援助のボランティアも人権意識というベースの上でコミュニケーションの力が必要だと思います。しかし、私達のまわりには身体的暴力や言葉による暴力、いじめや無視、虐待や養育拒否というネグレクト、誘拐や性的暴力など、子どもが出会うかもしれない危険がいっぱいです。子どもを守り、安全な環境を作るためには、学校が中心になって家庭、地域で大人に何が出来るか一緒に考え、子どもの力になれる大人を増やすことが欠かせないと思います。

CAP(子どもへの暴力防止)とはChild Assault Preventionの頭文字をとったもので、子どもが暴力から自分を守るための教育プログラムです。CAPのワークショップは参加型学習の形をとっています。一方的に教えるのではなく、参加者が自ら考え、ロールプレイ 役割劇を見て意見を言い合い、ロールプレイに参加することで一緒に考えるプログラムです。誰もが持っている権利を「安心」「自信」「自由」という子ども達に分かりやすい言葉で示し、何が出来るかを考えていきます。

1回あたりの対応可能人数・時間及び必要経費

大人ワークショップ 何人でも	約 120分	20,000円
教職員ワークショップ 何人でも	約 120分	20,000円

実施により期待できる効果

子どもにも人権があり、一人一人が大切な存在だと認識することができる
子どもを守るために家庭と学校、地域のネットワークが構築できる
信頼される大人として子どもにどう向き合おうかを学べる
暴力について学校や家庭、地域でも気軽に話しをする事ができる
暴力に対する正しい知識を学び、地域で子どもの安全について共有できる

プロジェクト実施におけるタイムスケジュール(案)

調整(日程及び人数) 応相談
事前学習必要の有無 無(但し、子どもワーク前に大人・教職員へのワークを実施する。打ち合わせが必要。)
実施後のフォロー :ワーク直後にトークタイムを実施する。復習タイムを設ける

【必要経費内訳】

人件費(3人×1日4000円)	= 12,000円
事務費	2,000円
事務所費	2,000円
消耗品費・通信費・印刷費他	4,000円

但し船賃、航空運賃、宿泊が必要な場合別途経費がかかることがあります。